

神木山報

shibokusanpou

一隅を照らそう
5月号

292号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp

お寺の本堂はワンダーランド

住職 中島 有淳

比叡山は天台宗の総本山ですが、同時に日本仏教の母山でもあります。伝教大師（七六六～八二二）が開かれた比叡山は京の都を望む地にあり、京都御所の鬼門にあたります。大師はこのお山に一乗止観院（後の根本中堂）を建てるに際し、

「あきらけく後の仏の御代までも先伝えよ法の灯」

と詠まれ、この場所から発せられる仏の灯火が永遠に絶えることなく続いていくようにと願われました。以後、比叡山は仏教の教えを発信する重要な聖地となったのです。

比叡山は大きく三つの谷によって成り立っています。大師自刻の薬師如来を祀った東の東塔は、現世利益の現在仏。お釈迦さまを祀った西塔は、過去仏であり、観音菩薩を祀った横川は、未来仏の夫々の聖域であります。お山の大きなエリアに過去、現在、未来の宇宙が包含され、そこに存在する一木一草にも仏の精神が宿っているとすると世界は、私たちが仏の教えに心を運ぶ上でも実に解り易いといえます。

実は誠に我田引水の感がありますが、當山の本堂は正面に「不動明王」と「薬師如来」を合祀し、現世利益の現在仏であり、正面で皆さまの「心願成就」をご祈禱しています。そして、左側の部屋には未来仏の「阿弥陀仏」を祀り、三界万靈の「極楽往生」を祈り、未来に心を運ぶ部屋となっています。

一方、過去仏はというと平成二十三年四月二十八日に勧請した右側の部屋の「毘沙門天」です。この仏さまは、お釈迦さまを北方で守護をしながら説法を一番よく聴聞していたことから多聞天ともいわれる仏さまで、「その教えが間違っていないことを証明して下さる役目」の仏さまです。

當山は限られたお堂の中に、仏さまの働きのこうした役割を配置して、日々勤行に勤しんでおります。

地球でおこる様々なニュースも瞬時に流れ、経済もそこに反応します。世の中は大変なスピードで移り変わっています。こうした不安定な深い闇の時代に、学校や仕事での人間関係で悩む方も多くなりました。

お寺のもつ働きをもっと活用してほしいものです。

寄贈御礼

(一) 本堂正面 幕一張

・山形県 高橋 岸子様
・山口県 佐藤 猪市様
・山口県 佐藤 ミサコ様

夫々、御志納頂きましたので本堂正面に幕を新しく作製させて頂きました。

(二) つつじ三株

・宮前区平 世話人 鈴木 利平様

裏山の燈籠の周囲に、ご子息と植栽して頂きました。有難うございました。

右、御礼申し上げます。



折りふしのはな

アメリカフウロ

いつ種子がこぼれたのでしょうか

いつの間にか

植木鉢に

かたばみに似た

淡いピンク色の花が

咲いています

雑草とはいえ

愛らしい

アメリカフウロの花です

(遊)

五月行事案内

◎五月八日 午後二時

薬師如来大護摩供修行

◎五月十二日 午後二時

智泉院法要日（於・日本橋茅場町）

◎五月十八日 午後二時

観音経誦法要（於・神木観音堂）

◎五月二十八日 午後二時

不動明王大護摩供修行

*毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

ご希望の方には
お礼を授与しております



「東国花の寺百ヶ寺」の
ガイドブックが
新しくなりました
寺務所までお訊ね下さい

あともきこ

○北朝鮮が核実験と大陸間弾道ミサイル試射の中止を表明。大きなニュースですが、楽観は出来ません。手順を踏みながら核廃絶の実現に向かい前に進んでもらいたいものです。

○四月、五月の不動尊御巡行では、お世話人をはじめご理解とご協力を頂きながら本年も実施され、有難いことです。

○大相撲の土俵での女性問題は、他のスポーツと違い微妙です。国技であるということは、その国の文化が色濃く透影されていて、単純にはいかず検証と理解に時間を要するでしょう。

○今年のつつじの花は、思いもよらない早さできれいに満開となりました。

盛りなる花曼陀羅の躑躅かな 高浜虚子

ウグイスもとても上手に鳴いて、境内は穏やかな「気」が流れて感謝です。

○絵馬堂にて、ミニ写真展が開催中。以前この紙面でも紹介した、境内を根城にしている「三毛猫」の写真です。今月末まで。

○五月晴れに泳ぐ「鯉のぼり」は新緑にマッチしてすがすがしいものです。子供達の健やかな成長は大人達の願いです。合掌